
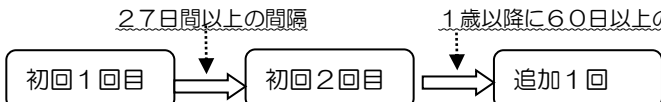
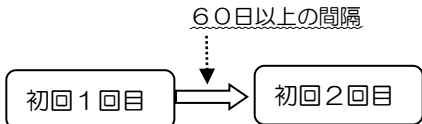
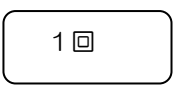


## 小児の肺炎球菌予防接種の説明

接種対象年齢	生後2月から5歳に至るまで	
望ましい接種開始年齢	生後2か月以上7か月に至るまで	
ワクチンの種類	不活化ワクチン ※令和6年4月から15価ワクチンが定期予防接種として使用できます。	
予防する病気	肺炎球菌は、子どもの多くが鼻の奥に保菌していて、ときに細菌性髄膜炎、敗血症、肺炎、副鼻腔炎、中耳炎といった病気を起こします。 日本では5歳未満では年間約150人が肺炎球菌による髄膜炎を発症しているとすいていさされていましたが、肺炎球菌ワクチンが普及し、肺炎球菌性髄膜炎などの侵襲性感染症は激減しました。	
接種回数	<p>●標準的な接種</p> <p><b>接種開始月齢：生後2か月以上7か月未満の場合（合計4回）</b></p> <p>初回はそれぞれ27日以上あけて3回</p> <p>※2回目および3回目は2歳未満（標準的には1歳未満）までに終了させる</p> <p>※2回目および3回目が2歳を超えた場合は行わない（追加接種は可能）</p> <p>※また、2回目が1歳を超えた場合、3回目は行わない（追加接種は可能）</p> <p>追加は初回3回目終了後60日以上あけて1歳以降に1回</p> 	
	<p><b>接種開始月齢：生後7か月に至った日の翌日から12か月に至るまで</b></p> <p>初回は27日以上あけて2回</p> <p>※2回目は2歳未満（標準的には1歳未満）までに終了させる</p> <p>※2回目が2歳を超えた場合は行わない（追加接種は可能）</p> <p>追加は初回の2回目終了後60日以上あけて1歳以降に1回</p> 	
	<p><b>接種開始年齢：1歳以上2歳未満の場合（合計2回）</b></p> <p>60日以上あけて2回接種</p> 	<p><b>接種開始年齢：2歳以上5歳未満の場合（合計1回）</b></p> <p>1回接種</p> 
実施時期	年間通して実施	
実施場所	個別予防接種実施医療機関	
注意事項	初回接種の開始時の月齢ごとに接種方法が異なります。	
副反応	注射部位の発赤・腫脹、全身反応として主なものは発熱などがみられます。	
備考	各医療機関に予約の有無や時間を確認してください。 必ず体温を測って、予診票と母子健康手帳を持っていきましょう。	